

# タイ大学と連携した インターンシップ事業概要

別紙1



**KMITL**  
พระจอมเกล้าลาดกระบัง

産業経済局雇用・産業人材政策課  
令和8年4月



**北九州市**  
CITY OF KITAKYUSHU

# 目次

1 事業の概要



2 タイ連携大学について



3 事業の特徴・実績



4 インターンシップのスケジュール



# 1 事業の概要

## 背景

- 中小・中堅企業における高度人材（エンジニア）の採用課題
- 高度外国人材の積極的な採用、育成の重要性の高まり

## 高度外国人材活用支援事業の展開

- タイ大学と連携した地域企業への長期インターンシップ受入
- 平成30年度（1期生）から事業開始

- 令和7年度で8年目を迎え、**地域企業に高度外国人材が就職**するモデル事業に発展

地域の製造業・IT企業等の高度人材獲得を支援  
タイでのビジネス展開を支援

# インターンシップ参加企業のメリット

## 1 高い就職率

原則として、インターンシップ終了後に就職

## 2 学生の資質

実践的な教育を受けた優秀な学生を選抜  
日本就業に高い意欲を持ち、日本語能力の向上も早い

## 3 市の支援

受入準備、日本語教育、各種手続きを市が支援

## 4 外国人社員採用の波及効果

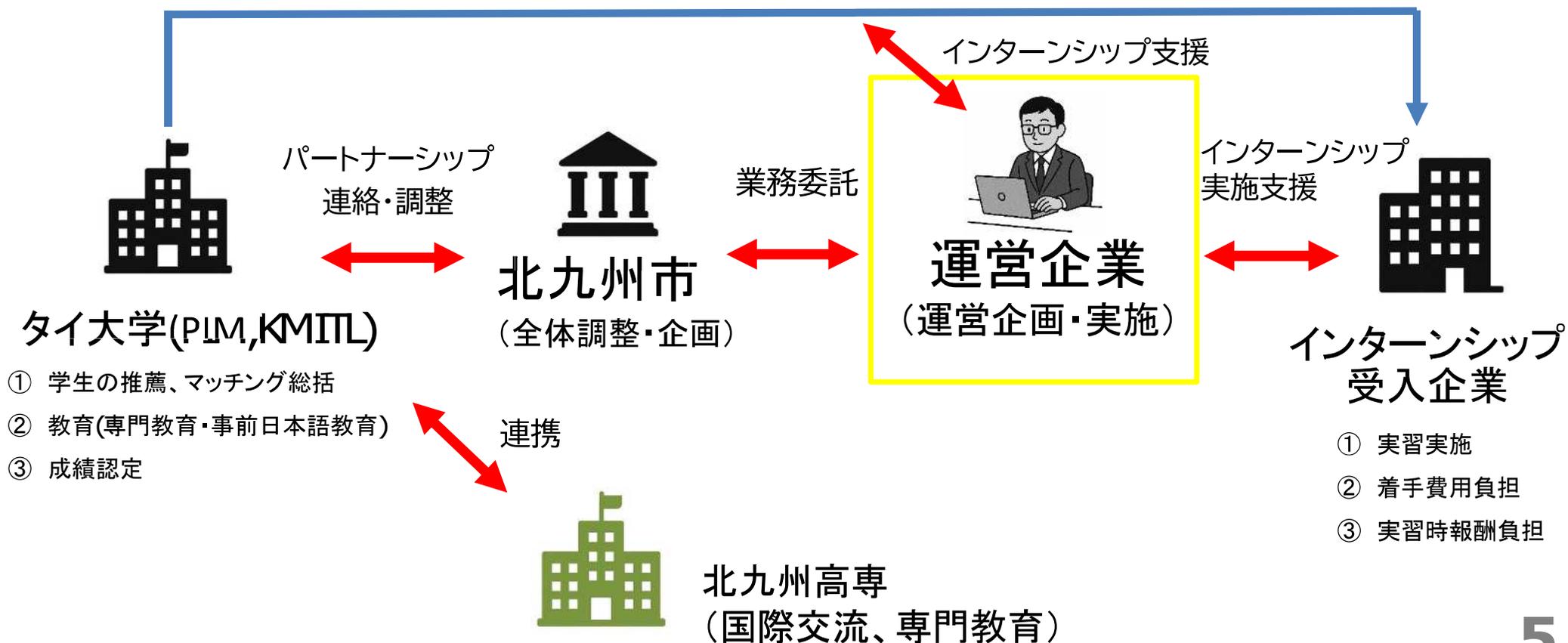
- 社内の多様性が広がる (外国人社員の個性・視点を生かした業務)
- 日本人社員が活性化し、若手の成長が促される
- 将来的な海外展開の足掛かりになる

# 国際インターンシップ・事業スキーム概要



学生

インターンシップ学生派遣  
(約4か月間の有償インターンシップ)



## 2 タイ連携大学について



# タイ：東南アジア進出のゲートウェイ



面積	約51万km <sup>2</sup> （日本の1.4倍）
人口	約6,595万人
時差	日本時間 -2時間
首都	バンコク（約546万人）
経済成長率	1.6%
一人当たりのGDP	約7,492ドル
言語	タイ語
平均年齢	41歳（日本：48歳）
宗教	95%の国民が仏教

出典：JETRO HP（2025年時点）

- ◆ 東南アジアの主要国として、経済成長を続ける
  - ◆ 穏やかな国民性で、親日国としても知られる
  - ◆ 大手日系企業も多数進出をしている（バンコク日本人商工会議所会員：約1,600社）
- 首都バンコクと福岡は 直行便で約6時間



# パンヤピワット経営大学 (PIM)



タイの最大財閥であるCPグループ企業が経営する、同国最初かつ最大の企業大学

## ■大学概要

設立 2007年6月

設立者 CPオール

学部数 工学部等 10学部27学科  
(学部、修士、博士課程)

生徒数 約14,000人

所在地 ノンタブリー県 (バンコク首都圏)

## 特徴

- ✓ 学問や知識の醸成と合わせ、**実践的な経験**に焦点を当てた企業大学ならではの教育カリキュラム/Work Based Learning
- ✓ **在学期間の半分以上**を、国内外の企業における有給インターンシップで過ごし、**即戦力となる技術**を習得

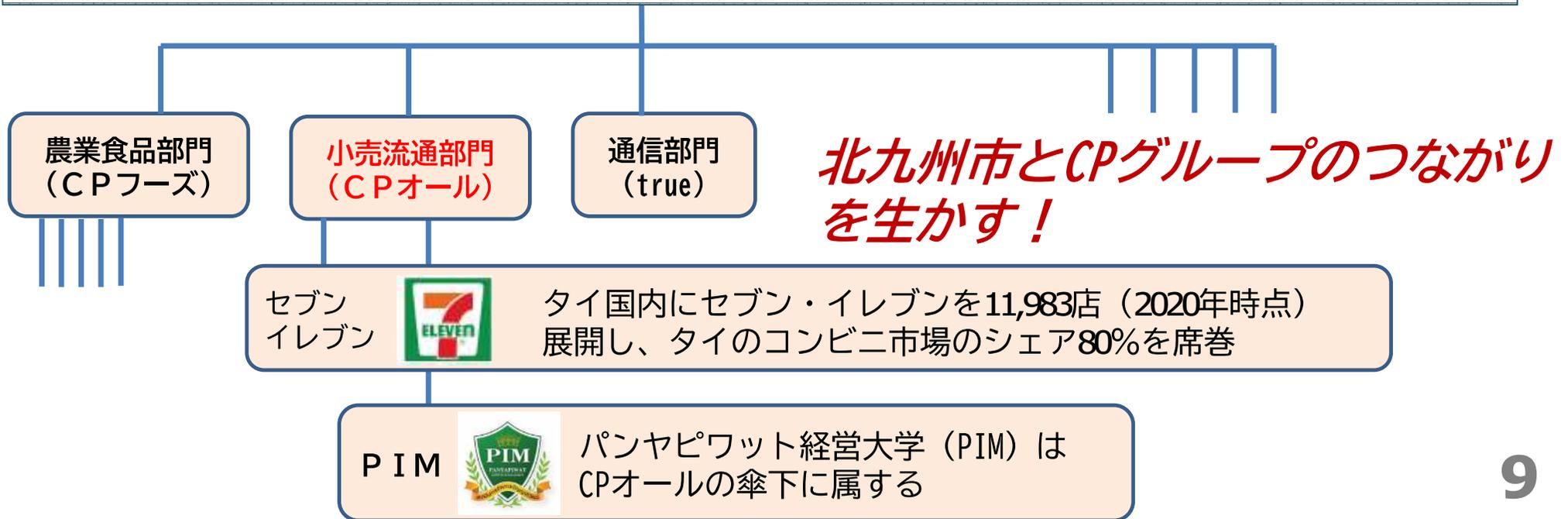


# 財閥チャロン・ポカバン（CP）グループ

## ■タイを代表する複合企業

農業、工業、食品、グローバルキッチン、流通、不動産、石油、通信の  
8つの分野の事業を展開

- 売上高 約1兆7000億バーツ（約7兆円超）
- 従業員 約40万人
- 関連企業400社以上（世界20か国に拠点）





World University Rankingにおいて国内7位、広大なキャンパスを有する国内トップレベルの国立工科大学  
 ※令和6年度から北九州市と連携を開始

## ■大学概要

設立 1960年8月  
 前進 日本政府との技術協力協定により  
 電気通信訓練センターとして設立  
 学部数 工学部等 11学部5研究科  
 (学部、修士、博士課程)  
 生徒数 26,690人  
 所在地 バンコク市

## 特徴

- ✓ 日本政府の継続的な経済支援を受け、日本式ものづくり教育を普及
- ✓ 日系企業の戦力となるよう日本語教育にも力をいれている
- ✓ 多くの卒業生が大手のタイ系、日系企業へ就職し、日本での就業を望む学生も多い

### 3 事業の特徴と実績

# 事業の特徴①

## 目的

ものづくり関連企業、IT企業等の人材〈エンジニア〉確保に対応  
海外でのビジネス展開を推進するための人材育成

## 特徴①

正規採用を前提としたインターンシップ

受入企業と学生の  
マッチング

約4か月間のインターン  
シップ【特定活動ビザ】

一時帰国  
卒業・就業ビザの  
取得準備

再入国・就職  
【就労ビザ】

- ✓ 学生の意欲、適正等を把握し採用できる
- ✓ 学生・企業間の合意形成の期間を確保し、雇用後の認識ギャップが解消
- ✓ 就労ビザ「技術・人文知識・国際業務」を取得するための立証を裏付け

「技・人・国ビザ」の申請にあたっては、学生の専攻内容とこれから従事する業務内容（活動）の関連性で厳しく精査、判断されます。インターンシップ実績により、業務内容・雇用条件などについて、双方の合意形成を示す裏付けとなります。

## 事業の特徴②

### 特徴② 〈企業向け〉受入に係る諸業務を重点サポート

1	学生の選抜	日本企業で長期働く意志、学業成績（GPA）、語学力等により選抜
2	面接設定（通訳手配）	マッチングを図るための面接を実施
3	入管手続き	受入にかかる書類の作成サポート
4	日本語教育	渡航前に日本語講師による集中講座を実施（計30時間超）
5	住居、役所等の手続き	住居選定・契約、住民登録、年金、各種保険等の手続き
6	その他生活環境整備	銀行口座開設、買い物サポートなど

### 特徴③ 〈学生向け〉メンタルサポートと定着支援

1	北九州高専での実習 研修中の困りごとへの 即時対応	▶週1で高専生を交えた実習と異文化交流 ▶北九州高専による文化研修、メンタルケア
2	先輩コミュニティ	過年度に就職した先輩たちのサポートで安心・安全を確保

# これまでのインターンシップ受入実績(H30-R7)

- ◆ 平成30年度から開始。令和7年度で8年目を迎える
- ◆ 現在は、8社で9人の学生がインターンシップ中

過年度	受入企業数	参加学生数
H30	4社	5名
R1	6社	7名
R2	6社	6名
R3	4社	8名
R4	3社	7名
R5	5社	6名
R6	4社	7名
R7	8社	9名
合計	延べ40社	55名

R6年度までの7年間で・・・

**24社の地域企業で55名がインターンシップを実施し、  
うち40名の就職が決定！**

## 受入実績企業 計24社

(有)ICS SAKABE	計測検査(株)	(有)第一製作所
アスカコーポレーション(株)	(株)ケーメック	(株)ドーワテクノス
石川金属工業(株)	小倉鉄道(株)	(株)ヘッズ
(株)オーネスト	JMACS(株)	(株)八幡電機精工
九州鉄道機器製造(株)	(株)タイヨウ	(株)リョーワ
(株)ソルネット	(株)ワークス	(株)EVモーターズ・ジャパン
フォースウェーブパートナーズ(株)	三島光産(株)	クラウン製パン(株)
(有)刀根電機工業所	日本電測機(株)	(株)シスコム

## インターンシップ学生 計55名

- 自動車生産工学科 24名
- コンピュータ工学科 4名
- デジタル・情報工学科 4名
- 産業工学科 2名
- 生産工学・自動化学科 3名
- ロボティクス・Ai学科 17名

## 4 インターンシップのスケジュール

# インターンシップ 全体の流れ (モデル)

時期	流れ	備考
4～5月	参加企業募集	
6月	学生情報・企業情報開示 面接 (オンライン)	学生情報：履歴書、成績証明書、PR動画 企業情報：会社概要、受入条件 (給与等) ※英語
7月	インターンシップ受入マッチング決定 タイ訪問	希望企業の皆様とタイ現地にて学生面談及び 大学教員との意見交換、視察等を実施
8月	来日関係の書類作成・手続き	(对学生) 受入協定書 (対大学) 覚書の締結等含む
9月	ビザ取得	<b>ビザ【特定活動】</b>
10月	入国 ▶▶▶ 住居ほか生活環境整備 <b>インターンシップ開始</b>	<b>約4か月間</b>
翌2月	成果報告会 (オンライン) 帰国	
3月以降	▶▶▶ 卒業・就業準備	

# インターンシップ決定（2-7月）の流れ※R7の例

2月現在	4月～	6月	7月
募集説明会	申込開始 募集説明会(オンライン)	受入先の仮決定	インターンシップ先確定 (準備開始)
<b>企業</b>	参加申込書の提出  ◆ 企業概要資料 ◆ 紹介動画など ◆ 雇用条件書 (インターンシップ中及び正規雇用時)	◆ 書類による選考 ◆ 面談による選考 ◆ 希望学生調査(順位付け)	タイ訪問(任意) ◆ 研究設備視察 ◆ 学生との面談 ◆ 次年度学生へのPR
<b>学生</b>	◆ 履歴書 ◆ PR動画	◆ 受入企業希望調査	

相互に情報を提示

WEB面接

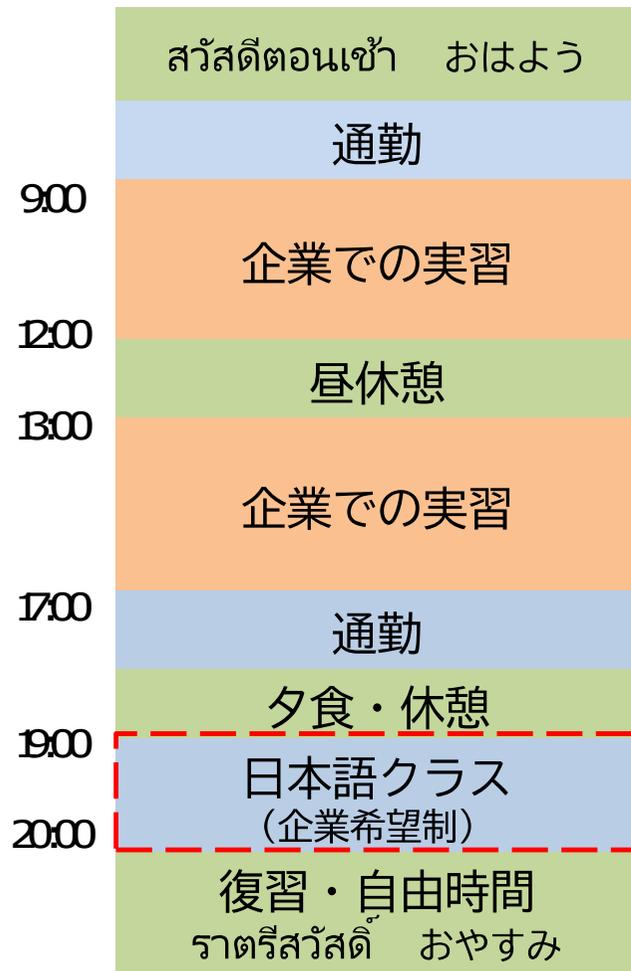
Web面接  
受入先の仮決定

受入先確定  
雇用契約書締結

# インターンシップ生の一週間 (モデル)

	月	火	水	木	金	土	日
午前	企業インターンシップ 		高専実習	企業インターンシップ 		休日 	
午後			対面 日本語講座				
夜 (帰宅後)	日本語学習・大学の課題・余暇など						

# インターンシップ生的一天と生活環境（モデル）



## 住居

市内の民間学生寮 または  
民間アパートでのルームシェア など

- 受入企業の所在地、家賃等生活費を考慮
- 学生（大学）と調整により決定
- 月平均生活費：8～9万円
- インターンシップ中の手取り額：約10万円

## 食事

自炊

※学生寮の場合は、朝夕食サービス有

## 通勤

公共交通機関等を利用して通勤

## 休日

学習や休息に充てる学生が多い…

- 大学の課題・研究や日本語講座の復習
- まちの散策や異文化体験も勧めています

業務外での積極的な声かけが、日本語能力の向上や安心感につながります。

# インターンシップ中の取組事例

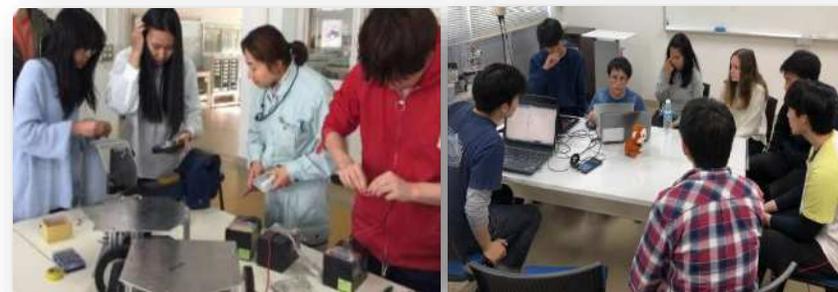
## ■企業での取組み

- ・IoTシステムのユーザーインターフェース設計・プログラミング
- ・新規導入のロボットの立ち上げ
- ・3D・CADを利用した製品設計
- ・AIを活用したアプリの研究・開発
- ・海外の工場などの市場調査・研究



## ■高専での取組み

- ・学習用キットを活用したAIプログラムの開発
- ・高専学生との交流プログラム・成果発表



# インターンシップ生受入にかかる経費

## 学生の負担経費

- ◆ 渡航・生活開始支度金  
出国に関する手続き費用、入国後の生活必需品購入費など
- ◆ 滞在費 ⇒ **インターンシップ報酬から捻出**  
家賃、水道光熱費、通信料金、食費、交際費、雑費



## 受入企業の負担経費

- ビザ取得に係る諸経費
- 渡航時往復航空券代 (片道約4万円)
- 住居初期費用 (約7万円)
- **日本語講座費用 (インターンシップ期間中・企業希望制)**
- インターンシップ報酬 (1,100~1,500円/時)
- 通勤手当等諸手当 (交通費、賞与など)
- 健康保険
- 厚生年金
- 社会保険・労災保険等



## 1. 事業運営

- 出入国・在留管理局との事前協議
- タイ大学との連絡調整（学生情報の取り纏め）
- 学生の選考及びマッチング支援（面接設定）
- タイ訪問の企画
- タイからの来日訪問団受入対応など

## 3. 研修支援

- 入国・帰国時の送迎
- 入国時オリエンテーション（生活マナー、交通ルール等）
- 住居、区役所手続き、銀行口座、保険契約等
- 生活必需品の買い物支援
- 受入事務に関するお問い合わせ対応
- 日本語教育実施（渡航前・週1回の高専授業）
- 学生の生活・研修全般のフォローアップ

## 2. 入国手続き関連

- 在留資格認定証明書（COE）申請 各種支援
  - 学生の受入協定書
  - 大学との覚書締結 含む
- COE取り纏め、タイへ発送
- 各種支援機関の紹介

## 4. 就職時

- 大学（学生）からの必要書類取得支援
- 行政機関からの支援施策等の情報提供
- 各種支援機関の紹介
  - ※北九州外国人材就業サポートセンター他
- その他ご相談受付

※枠線内が本委託業務範囲

# 参考：就職決定後の手続き（イメージ）

2月頃

採用意向の確認  
(インターンシップ中)

3～4月頃

卒業手続き

5～6月頃

ビザ・入国手続き  
就労ビザ【技術・人文知識・国際業務】

7～8月頃

駐日タイ大使館手続き

9月以降

再来日・就職

※上記の手続きは、本契約業務の範囲外のため、参考提示です。  
手続きは各社の状況、制度の動向等により、大きく異なることがあります